

# 一般社団法人 鳥取県作業療法士会

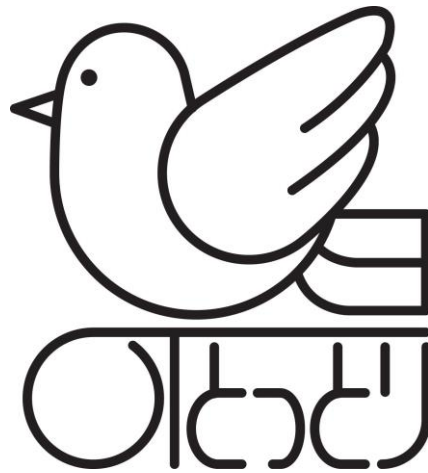
## 令和3年度 定時社員総会

### 議 案 書

期日：令和3年 5月 16日（日） 9：30～10：30

会場：倉吉未来中心 セミナールーム3A

（倉吉市駄経寺町212-5 TEL：0858-23-5390）



一般社団法人 鳥取県作業療法士会

事務局

〒683-0825 鳥取県米子市錦海町3-3-2

YMCA米子医療福祉専門学校内

TEL：080-2930-5010

MAIL：[jimu@tottori-ot.or.jp](mailto:jimu@tottori-ot.or.jp)

## 総 会 次 第

1. 開会のことば
2. 議 長 選 出
3. 会 長 挨 拶
4. 定 足 数 報 告
5. 書 記 任 命
6. 決 議 事 項
  - 第 1 号議案 令和 2 年度事業報告書承認の件
  - 第 2 号議案 令和 2 年度決算報告書承認及び監査報告の件
  - 第 3 号議案 役員改選（役員選出）の件
  - 第 4 号議案 定款の改訂の件
  - 第 5 号議案 その他
7. 報 告 事 項 令和 3 年度 事業計画及び予算
8. そ の 他
9. 議長、書記解任
10. 閉会のことば

### 目 次

総 会 次 第	. . . . .	1
決 議 事 項	第 1 号議案 令和 2 年度事業報告承認の件 . . . . .	2
	事務局 . . . . .	2
	財務部 . . . . .	3
	規約委員会 . . . . .	3
	倫理委員会 . . . . .	3
	総会議事運営委員会 . . . . .	3
	選挙管理委員会 . . . . .	4
	渉外部 . . . . .	4
	広報部 . . . . .	5
	事業部 . . . . .	5
	学術部 . . . . .	6
	教育部 . . . . .	7
	生活行為向上マネジメント委員会 . . . . .	9
	領域対策部 . . . . .	10
	地域包括ケアシステム対策委員会 . . . . .	10
	認知症対策委員会 . . . . .	12
	その他 . . . . .	13
	第 2 号議案 令和 2 年度決算報告書承認及び監査報告の件 . . . . .	14
	財産目録 . . . . .	15
	貸借対照表 . . . . .	15
	令和 2 年度決算書 . . . . .	16
	正味財産増減計算書 . . . . .	23
	監査報告書 . . . . .	25
	第 3 号議案 役員改選（役員選出）の件 . . . . .	26
	第 4 号議案 定款の改訂の件 . . . . .	26
	第 5 号議案 その他 . . . . .	26
報 告 事 項	令和 3 年度事業計画及び予算	
	事務局 . . . . .	27
	財務部 . . . . .	27
	規約委員会 . . . . .	27
	倫理委員会 . . . . .	27
	総会議事運営委員会 . . . . .	28
	選挙管理委員会 . . . . .	28
	渉外部 . . . . .	28
	広報部 . . . . .	28
	事業部 . . . . .	29
	学術部 . . . . .	29
	教育部 . . . . .	30
	生活行為向上マネジメント委員会 . . . . .	31
	領域対策部 . . . . .	31
	地域包括ケアシステム対策委員会 . . . . .	31
	認知症対策委員会 . . . . .	32
	令和 3 年度予算書 . . . . .	33
県士会組織図	県士会組織図 . . . . .	36

第1号議案 令和2年度 事業報告書承認の件

令和2年度 事業報告

【管理運営部門】

◎事務局

1. 会議の開催

会議名		期 日	会 場
定時社員総会		令和2年 6月20日(土)	YMCA 米子医療福祉専門学校
理事会	第1回	令和2年 4月	新型コロナウイルスの感染蔓延に伴い、メール理事会を開催
	第2回	令和2年 5月25日(月)	感染対策のため、Web開催
	第3回	令和2年 7月18日(土)	まなびタウンとうはく
	第4回	令和2年 9月20日(日)	まなびタウンとうはく及びWeb
	第5回	令和2年 11月28日(土)	サンライズひえづ及びWeb
	第6回	令和3年 1月16日(土)	サンライズひえづ及びWeb
	第7回	令和3年 3月13日(土)	サンライズひえづ及びWeb
事務局会議	第1回	令和2年 7月19日(日)	まなびタウンとうはく及びWeb

2. 会員管理

(1) 入退会状況 (令和3年3月31日現在)

会 員 数					異 動 届			
正会員	自宅	休会	入会	退会	勤務先変更	転出	転入	アドレス変更
544名	18名	2名	22名	12名	20件	5件	1件	14件

うち10名、会費未納による退会

(2) 会員管理方法の検討

各種届出先、会員管理方法、データベースの移行について検討中

(3) 賛助会員入会希望団体への対応

(4) 入会促進活動

入会案内を作成し、県内養成校宛に入会申込書と併せて送付

3. 文書管理

(1) 文書受取・保管 (令和3年3月31日現在)

総数	会員	OT協会	他士会	鳥取県	鳥取県社協	その他
245件	13件	23件	106件	4件	24件	75件

(2) 情報配信

各部局からの連絡、ホームページ更新情報を会員へ一斉メール配信/10件

4. 作業療法士に関する全国組織との連携

(1) 日本作業療法士協会

① 日本作業療法士協会 2020年度定時社員総会

令和2年5月30日(土)Web開催/鳥取県代議員(土井宣幸、梅津清司郎)

② 47都道府県委員会(年3回、臨時1回)

第1回 令和2年4月11日(土)・12日(日)中止/書面での資料配信のみ

第2回 令和2年9月12日(土)Web/段敬史、土井宣幸、田住秀之、菊本理恵

臨時 令和2年12月9日(水)Web/段敬史、菊本理恵

第3回 令和3年2月6日(土)Web/段敬史、土井宣幸、菊本理恵

③ 日本作業療法士協会からのアンケート等の回答/3件

④ 士会におけるICTを活用した研修会・会議運営助成金

協会より30,000円の支給あり、Webカメラ、スピーカー、非接触型体温計等を購入

⑤ 協会員=士会員について適宜情報交換等実施

5. その他

(1) 法人の管理運営

- ①コロナ禍における定時社員総会開催について情報収集・必要書類の準備
- ②法人市民税・県民税：減免申請手続きを行い、令和元年度分全額免除となる
- ③令和元年の事務局変更に伴う郵便物転送届の延長
- ④他県士会、他団体等からの問い合わせ対応

## ◎ 財務部

### 1. 会費徴収について

#### (1) 会費徴収

- ①会員数：548名（内休会中2名、納入後の退会者は含まず）
- ②会費納入者数：520名（他県士会での納入、納入後の転出者含む）
- ③会費未納者数：26名（休会中2名含まず）
- ④徴収率：95%

#### (2) 未納者への督促

- ①ホームページや県士会ニュースへ未納者の会員番号（OT協会）を掲載
- ②令和2年12月に会費未納者に対して督促状と振込用紙の送付を実施

### 2. ボランティア保険加入手続き

132名の加入手続きを行った

### 3. 予算事務に関する特記事項

令和2年度(1)について計上した予算①は決算書のとおり執行した。予算②は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

## ◎ 規約委員会

### 1. 役員選出規程の変更について

定款（第25条）の変更に伴い規程の変更を行う。

役員選出規程第11条（会長・副会長の文言削除）及び第15条（会長候補者の投票様式の削除）の変更を行う。

役員選出選挙立候補届及び推薦届の会長候補の記載を削除

### 2. 費用弁償規定、出張旅費規程の変更（WEB会議日当の新設）

コロナ禍のため今後もWeb会議等増加することを考え規約の整備を行った。

#### 【追加内容】

県士会や県内他団体との会議、委員会等：Web日当として¥500-（交通費の同一区域費用と同等と考え）

OT協会、県外他団体との会議、委員会等：Web日当として¥2,500-（県内日当半日費用と同等と考え）

## ◎ 倫理委員会

### 1. 例年現職者共通研修会で「職業倫理」の講演を行っているが、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。

### 2. 相談への対応

(1)相談件数：0件

### 3. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携

(1)一般社団法人日本作業療法士協会倫理委員会への報告はなし

## ◎ 総会議事運営委員会

### 1. 定時社員総会の議案書・議事録作成

### 2. 定時社員総会の開催

(1)期日：令和2年6月20日（日）10：00～11：00

(2)会場：YMCA 米子医療福祉専門学校

(3)内容：令和元年度事業報告書承認

令和元年度決算報告書承認及び監査報告

令和2年度事業計画及び予算

出席役員名（代表理事：段敬史 理事：田住秀之、菊本理恵）

- (4) 正会員総数：536 名（令和 2 年 6 月 11 日現在）  
出席正会員数：423 名（会場出席 3 名、書面採決・委任状出席 420 名）  
書面採決内訳：全てに賛成 294 名 総会多数意見に委任 125 名 個人委任 1 名の議決権を有しており、開催に対して影響はなかった。

## ◎ 選挙管理委員会

1. 委員会開催（計 3 回）
  - (1) 期日：令和 2 年 10 月 26 日、12 月 9 日、令和 3 年 2 月 25 日
  - (2) 内容：令和 3 年度鳥取県作業療法士会役員候補者選挙に向けて
2. 鳥取県作業療法士会役員候補者選挙の公示
  - (1) 役員候補者選挙の公示
    - ①方法：鳥取県作業療法士会ホームページ掲載
    - ②期間：令和 2 年 1 月 16 日～2 月 16 日  
立候補者：会長 1 名、理事 14 名、監事 0 名
  - (2) 理事会報告
    - ①会長・理事の立候補者結果報告
    - ②定数を満たせず、理事会へ推薦者の要請報告

## 【事業部門】

## ◎ 渉外部

1. 関係機関との渉外、連絡・調整に関わること
  - (1) 鳥取県社会福祉協議会との協力・連携・調整
    - ①令和 2 年度介護専門職研修事業 研修企画会議出席  
令和 2 年 7 月 10 日（金）、令和 3 年 3 月 10 日（水）中島直（尾崎病院）
    - ②介護専門職研修講師調整
      - i 「高齢者と楽しむレクリエーション」  
西部地区 加藤淳美（サンライズ名）中止  
中部地区 郷原達之（老健うつぶき）中止 資料配布のみ  
東部地区 令和 2 年 12 月 15 日（火）  
於：県立福祉人材研修センター 坂本一郎（さとに田園クリニック）
      - ii 「高次脳機能障害」  
令和 2 年 12 月 1 日（火）於：倉吉体育文化会館 井尾政美（三朝温泉病院）
  - (2) 特別支援教育への協力
    - ①会員、学校との連絡調整、実施集計など
      - i. 灘手小学校 2 回、倉吉養護学校 4 回、鳥取養護学校 4 回 来間寿史（株式会社つむぎ）
      - ii. 倉吉養護学校 5 回 西村純一（清水病院）
      - iii. 八東小学校 令和 3 年 1 月 15 日（月）涌島恵理（鳥取療育園）
    - ②県、市町村教育委員会との協力連携調整  
県教育委員会訪問 令和 3 年 3 月 3 日（水）谷口弘（中部療育園）
  - (3) YMCA 米子医療福祉専門学校入学式、卒業式 コロナ対応、(来賓不参加) により不参加
  - (4) 若草学園協力  
令和 3 年 3 月 19 日（金）涌島恵理（鳥取療育園） 3 月 26 日（金）松本桜（尾崎病院）
  - (5) 学童保育鳥取県連絡協議会との連携協力  
連絡協議会会員への作業療法についての研修 コロナ禍により延期
  - (6) 鳥取県障がい者スポーツ協会との連携  
研修なく PR の機会なし。ホームページにて連絡していく予定
  - (7) 日本筋ジストロフィー協会鳥取県支部 療育キャンプ協力 コロナ禍により中止
  - (8) 中部ふるさと連合 介護認定審査会委員調整  
福井由香里（ル・サンテリオン東郷） 山田千恵（清水病院）
  - (9) 東部広域行政管理組合 障がい者総合支援審査会委員調整 逸見美樹（鳥取医療センター）
2. 作業療法士の職務拡大に関すること

(1) 外部協力調査 12月実施

## ◎ 広報部

### 1. 士会ニュース発行（年4回）

発行号数	担当施設名
107号（6月号）	ウェルフェア北園渡辺病院
108号（8月号）	野島病院
109号（11月号）	皆生温泉病院
110号（2月号）	鳥取大学医学部附属病院

### 2. 広報資料取り寄せ（日本作業療法士協会より）

ポスター	200部
------	------

### 3. 学校への啓発・広報活動

#### (1) 資料配布

##### ① 高校への配布

配布先	実施期間	配付内容
各高校	7月	ポスターなど

##### ② 委員会・小学校・中学校・特別支援学校への配布（特別支援教育関係）

配布先	配布数	配付内容
教育委員会	24通	パンフレット
小学校	121通	
中学校	57通	
特別支援学校	11通	
義務教育学校	5通（学校数は3）	
合計	218通	

(2) 施設見学（東部、中部、西部の各地区の承諾施設での実施）7～8月  
コロナ禍の影響で中止となりました。

### 4. 作業療法推進月間（8月）

#### (1) ポスターの配布

県内のOT在籍施設、市町村役場、OTが不在の病院・老健施設

### 5. ホームページ管理・更新

#### (1) 更新数：56件

#### (2) 鳥取県作業療法士会ホームページ

アドレス：<http://tottori-ot.or.jp>

### 6. 会議の開催

対面での会議を避け、メール会議を実施。

### 7. 日本作業療法士協会との連携

Web会議：実務なし

### 8. データ管理委員会

#### (1) 郵送に関するデータの管理・更新

#### (2) 円滑な郵送方法の情報提供

### 9. その他

## ◎ 事業部

### 1. 第11回訪問リハ・地域リーダー会議

(1) 期日：令和2年5月26日（土）、27日（日）

(2) 会場：天満研修センター、大阪YMCA

(3) 出席者：山下大輔（養和病院）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。

### 2. 中国地区作業療法士会合同研修会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。

### 3. 厚生労働省指定臨床実習指導者講習会（鳥取県講習会）

- (1) 期日：令和3年2月27日（土）、28日（日）
- (2) 会場：鳥取県中部医師会立 三朝温泉病院（東伯郡三朝町山田 690）  
上記会場をキー局として、Web形式で開催。
- (3) 定員：60人
- (4) 内容：臨床実習指導者講習会に準ずる
- (5) 講師：高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）、村山大祐（鳥取医療センター）、原田伸吾（株式会社つむぎ）、中村貴紀（三朝温泉病院）、梅津清司郎（YMCA 米子医療福祉専門学校）、宮崎篤（済生会境港総合病院）、土井宣幸（はまかぜ）
- (6) 世話人：梅津清司郎（YMCA 米子医療福祉専門学校）  
鬼木徳子（やわらぎ）  
菊本理恵（YMCA 米子医療福祉専門学校）  
北山朋宏（錦海リハビリテーション病院）  
幸田真（藤井政雄記念病院）  
小山雅之（SOI STANCE）  
坂本一郎（さとに田園クリニック）  
高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）  
竹谷豊（老健のじま）  
田住秀之（YMCA 米子医療福祉専門学校）  
土井宣幸（はまかぜ）  
中村貴紀（三朝温泉病院）  
馬場孝（YMCA 米子医療福祉専門学校）  
原田伸吾（株式会社つむぎ）  
平野正樹（錦海リハビリテーション病院）  
松本周三（三朝温泉病院）  
宮崎篤（済生会境港総合病院）  
村山大祐（鳥取医療センター）
- (7) 準備委員：小山雅之（SOI STANCE）  
北山朋宏（錦海リハビリテーション病院）  
高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）  
菊本理恵（YMCA 米子医療福祉専門学校）  
松本周三（三朝温泉病院）

(8) 準備委員会

- ①第1回 令和2年 8月27日
- ②第2回 令和2年 9月30日
- ③第3回 令和2年 10月11日
- ④第4回 令和2年 11月5日
- ⑤第5～12回は事前通信テスト、打ち合わせとして開催

4. 令和2年度第1回訪問リハ地域ブロック連絡会議

- (1) 期日：令和3年1月20日（水）
- (2) 会場：Web形式での参加
- (3) 内容：①動画配信後のアンケートについて（協力のお礼と報告）  
②3協会と訪問リハビリテーション振興委員会の方針について  
③各班長から報告等  
④令和3年度介護報酬改定について～訪問リハ・訪問看護を中心に～  
⑤令和3年度訪問リハ・地域リーダー会議について  
⑥その他
- (4) 出席者：山下大輔（養和病院）、小山雅之（SOI STANCE）

◎ 学術部

1. 第17回鳥取県作業療法学会（延期）

- (1) 内容：

- ①学会テーマ：「社会との繋がりをつくるため、作業療法士にできること」
- ②特別講演：西方浩一 氏（文京学院大学 保健医療技術学部 准教授 作業療法士）
- ③一般演題：口述発表、ポスター発表

(2) 実行委員：

学会長	北山朋宏（錦海リハビリテーション病院）
実行委員長	原美苗（なんぶ幸朋苑）
副実行委員長	乾かおり（仁風荘）
広報・接待	田村理恵（鳥取大学医学部附属病院）、山本香織（特養あいご）
会計	小山雅之（SOI STANCE）、菊本理恵（YMCA 米子医療福祉専門学校）
演題・査読	廣江睦美（大山リハビリテーション病院）、池淵欽斗（米子病院）
学会誌	村瀬良知（済生会境港総合病院）
会場	山本未来（錦海リハビリテーション病院）
相談役	段敬史（サンライズ名和）、田住秀之（YMCA 米子医療福祉専門学校）
学術部長	高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）

(3) 実行委員会開催

回	1回	2回	3回
日付	R2 2/7	R2 3/16	R2 4/24
場所	YMCA 米子医療福祉専門学校	SOI STANCE、Web	Web 会議

※上記の予定で実施する予定であったが新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の状況から延期という判断になった。

2. テーマ別勉強会

(1) 開催状況

地区	テーマ別勉強会	開催回数	決算額（円）
東部	東部地区全般勉強会	0	0
東・中部	特別支援教育（東部・中部）	0	0
中部	中部精神科勉強会	3	0
	中部地区合同勉強会	1	0
西部	西部精神科勉強会	0	0
	西部福祉用具・住環境勉強会	0	0
	CVA 勉強会	0	0
	作業を考える会	0	0
	治療演習・ADL 分析勉強会	0	0
	特別支援教育（西部）	0	0
	総計	4	0

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の状況から例年と比べると開催回数は少ないが、Zoom を用いた勉強会など新たな工夫も見られた。

◎ 教育部

1. 生涯教育制度に関する管理

(1) ホームページ「生涯教育手帳の移行手続きが始まりました」更新あり

(2) 生涯教育履修状況の管理－生涯教育履修リスト更新

県士会名簿更新時、基礎研修開催時、事務局からの連絡時等に随時実行. 認定OT10名

(3) 基礎研修ポイント管理・発行（申請予定のものも含む）

① 士会裁量基礎研修ポイント集計・発行予定

② 現職者選択研修会ポイント発行 2月14日

③ 鳥取県作業療法学会ポイント発行 延期

④ 基礎研修会（士会主催及び共催）ポイント発行

10月24日 第1回MTDLP研修会

12月12日 第2回MTDLP研修会



- 1月23日 運転と作業療法研修会
- 1月24日 第3回MTDLP研修会
- 2月7日 地域包括人材育成研修会
- 2月7日 第11回鳥取県訪問リハ実務者研修会・在宅リハ研修会
- 2月11日 第16回認知症研修会
- 2月21日 地域包括ケアシステム対策委員会大研修会
- 2月23日 第17回認知症研修会（午後の部は中止）
- 2月27・28日 第1回臨床実習指導者講習会

## 2. 生涯教育制度に関する開催

### (1) 現職者共通研修会

期日と会場	区分	テーマ	講師	認定数
① 前期  中止	I	作業療法生涯教育概論	北山朋宏：錦海リハ病院	
		職業倫理	長田貴徳：尾崎病院	
	III	保健・医療・福祉と地域支援	長谷川徹：はまなす	
		作業療法における協業・後輩育成	田住秀之：YMCA 米子	
② 後期 10月11日（日） 会場：西部 Web研修	II	作業療法の可能性	宮城直子：尾崎病院	7
		事例報告と事例研究	梅津清司郎：YMCA 米子	8
	IV	日本と世界の作業療法の動向	藤田恵子：セラトピア	13
		実践のための作業療法研究	高梨悠一：YMCA 米子	13

## 3. 生涯教育に関する研修会等の認定

- (1) 現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定（テーマ別勉強会教育部員が「事例報告会認定申請」を行い、教育部長が受理・認定。学術部員がホームページ掲載依頼）

地区	テーマ名	件数 (前年度)
東部	全 般	0(0)
中部	中部合同	1(1)
	精神科	0(0)
西部	作業を考える	0(0)
	C V A	0(2)
	社会資源	0(0)
	治療演習ADL分析	0(0)
	精神科	0(0)
計		1(3)

- (2) 基礎研修会認定（テーマ別勉強会教育部員が申請を行い、教育部長が受理・士会主催認定）

- (3) SIG等登録認定（SIGとして認定を希望する団体を会員が申請し教育部長が受理・認定）なし

## 4. 日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者

- (1) 生涯教育制度推進担当者会議会（Web会議）出席11月14日 参加：北山朋宏  
・研修システム・生涯教育手帳の電子版について情報を得た。
- (2) 生涯教育制度推進担当者会議会（Web会議）出席1月22日 参加：北山朋宏  
・研修システム（基礎研修ポイント申請）について情報を得た。

## 5. 会員への情報伝達

### (1) 県士会ニュースへの掲載

- ・前期現職者共通研修会（I・III）中止のお知らせ
- ・生涯教育システムが稼働しています（2回掲載）
- ・後期現職者共通研修会（II・IV）のご案内
- ・受講記録の電子化のお願い

### (2) ホームページへの掲載

- ・生涯教育手帳の移行手続きが始まりました
- ・後期現職者共通研修会（Ⅱ・Ⅳ）のご案内
- ・後期現職者共通研修会（Ⅱ・Ⅳ）のご案内（ZoomによるWeb研修への変更のお知らせ）

#### 6. 他部との連携・協力

- (1) 学術部：テーマ別勉強会、基礎研修会、ポイント発行など
- (2) 事業部：鳥取県作業療法学会（延期）、訪問リハビリテーション実務者研修会など
- (3) 領域対策部：現職者選択研修会など
- (4) 事務局：会員管理事務など
- (5) 特設委員会：士会主催研修会など

### ◎ 生活行為向上マネジメント委員会

#### 1. 令和2年度鳥取県地域医療介護総合確保基金

介護予防の推進に資する OT, PT, ST 指導者育成事業、生活行為向上マネジメント啓発事業 補助金合計：¥395,000

#### 2. 委員会開催

- 第1回：令和2年5月2日 第2回：令和2年8月8日 第3回：令和2年9月21日  
 第4回：令和2年10月14日 第5回：令和2年11月25日 第6回：令和3年1月13日  
 第7回：令和3年2月20日

#### 3. 全国会議派遣

生活行為向上マネジメント拡大連絡会議（Web）

第1回：令和2年6月28日

参加者：土井宣幸（はまかぜ）、松本周三（三朝温泉）

第2回：令和2年7月29日

参加者：土井宣幸（はまかぜ）、松本周三（三朝温泉）、鬼木徳子（やわらぎ）

第3回：令和2年8月24日

参加者：土井宣幸（はまかぜ）、松本周三（三朝温泉）、鬼木徳子（やわらぎ）

第4回：令和2年10月7日

参加者：土井宣幸（はまかぜ）、松本周三（三朝温泉）、鬼木徳子（やわらぎ）  
 清水里江子（尾崎病院）

第5回：令和2年11月10日

参加者：松本周三（三朝温泉）、清水里江子（尾崎病院）、橋本梢（尾崎病院）

内 容：Web研修会の進め方、コロナ禍における啓発、啓蒙への取り組み、情報交換

#### 4. 派遣研修会

生活行為向上マネジメント指導者研修会（WEB研修）

日 時：令和3年2月6日（土）～2月7日（日）

開催形式：ZOOM

内 容：MTDLP 指導者の役割・マネジメント、インテーク、基礎研修の進め方

事例発表のファシリテート（演習含む）、事例登録・事例審査（演習含む）

スタッフ派遣：中村貴紀（三朝温泉）

#### 5. 県内研修会

##### i. 令和2年度 第1回 MTDLP 研修会基礎研修（WEB研修）

日 時：令和2年10月24日（日） 9：00～16：50

場 所：ZOOM

参加者：参加者：5名

##### ii. 令和2年度 第2回 MTDLP 研修会基礎研修（WEB研修）

日 時：令和2年12月12日（土） 9：00～16：50

場 所：ZOOM

参加者：参加者：4名

##### iii. 令和2年度 第3回 MTDLP 研修会実践者研修（WEB研修）

日 時：令和3年1月24日（日） 9：00～12：00

場 所：ZOOM

参加者：参加者：10名（実践者2名、聴講8名）

## ◎領域対策部

### 1. 現職者選択研修（身体障害領域）

(1) 期日：令和3年2月14日（日）9：20～16：30

(2) 会場：Web開催

(3) 内容：

テーマ1：急性期の作業療法	高梨悠一：YMCA米子医療福祉専門学校
テーマ2：回復期の作業療法	仲田奈生：島根リハビリテーション学院
テーマ3：身体障害領域の基礎知識	酒井ひとみ：関西福祉科学大学
テーマ4：生活期・終末期の作業療法	酒井ひとみ：関西福祉科学大学

(4) 参加者：19名（県内19名）

(5) 委員：坂本一郎（さとに田園クリニック）、下田知慧（にしまち幸朋苑）、橋本秀次（鳥取医療センター）、宮川愛（さとに田園クリニック）、寺坂恵梨（尾崎病院）、衣笠真理恵（中央病院）、三木久美子（ウエルフェア北園渡辺病院）

## ◎ 地域包括ケアシステム対策委員会

### 1. 研修会開催

(1) 地域包括ケアシステム人材育成別研修会（1回）

新型コロナウイルス感染予防のため2回開催予定を1回に変更

テーマ：介護普及展開事業と地域包括ケア会議を理解する

Web形式

① 開催日：令和3年2月7日（日曜日）

② 講師：鳥取県作業療法士会 地域ケアシステム対策委員 原田伸吾、永見忠志

③ 内容：オリエンテーション

介護予防活動普及展開事業・地域ケア会議  
セサメント・マネジメントに重要な10項目  
質疑応答

④ 参加者：14名

(2) 地域包括ケアシステム大研修会（1回）

テーマ：地域包括ケアシステムにおける作業療法士の役割と実践報告

Web形式

① 開催日：令和3年2月21日（日曜日）

② 講師：鳥取県作業療法士会 地域ケアシステム対策委員  
藤田恵子、加藤淳子、永見忠志

③ 内容：オリエンテーション

地域包括ケアシステム・POST活動実績・介護予防事業への提案  
OTとして何をアドバイスするか？  
災害対策  
大山町・北栄町地域個別ケア会議実践報告  
質疑応答

④ 参加者：21名

(3) 運転と作業療法研修会

運転と作業療法研修会

① 開催日：令和3年1月23日（土曜日）

② 会場：Web開催

③ 内容：「運転における鳥取県作業療法士会の取り組み」  
岩崎大輔（養和病院）

④ 参加者：2名

## 2. 災害時対策

- (1) 県士会員に向けて地域包括ケア研修会において災害対策についての講義実施
- (2) 日本作業療法士協会主催の災害対策研修参加派遣・JIMTEF 災害医療研修ベーシックコースなどへの委員派遣については新型コロナウイルスの影響もあり派遣できず。
- (3) JRAT（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会）への協力体制強化について新型コロナウイルスの影響で進展なし

## 3. 担当者会議

- (1) 3委員会：7/1、10/1  
西部地区委員会：8/28、9/15、10/14、10/28、11/10、12/1、1/19、2/3  
全県委員会：12/1  
自動車運転：6/12、6/26、8/7、8/29、9/15、10/19、11/30、1/23

## 4. パンフレット管理

地域包括ケアシステムに関するパンフレットの内容見直しを実施  
コロナ禍におけるフレイル予防についてチラシの原案作成  
次年度印刷・ホームページ掲載の予定

## 5. 委員派遣

外部協力

- 8/24 東部地区在宅医療介護連携推進協議会 研修ワーキンググループ  
原田（株式会社つむぎ）、佐野（きずな訪問看護ステーション）
- 8/27 令和2年度第1回米子市地域包括支援センター運営協議会  
永見（皆生温泉病院）
- 9/23 東部地区地域医療構想会議  
坂本（さとに田園クリニック）
- 10/ 9 令和2年度第1回米子市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会  
永見（皆生温泉病院）
- 10/16 ふくよね地区在宅ケア研修会  
永見（皆生温泉病院）
- 11/12 東部地区在宅医療介護連携推進協議会 研修ワーキンググループ  
原田（株式会社つむぎ）、佐野（きずな訪問看護ステーション）
- 11/20 東部圏域栄養管理情報連携サポート事業検討委員会  
原田（株式会社つむぎ）、佐野（きずな訪問看護ステーション）
- 11/26 第1回米子市自立支援型地域ケア会議  
永見（皆生温泉病院）
- 11/27 令和2年度第2回米子市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会  
永見（皆生温泉病院）
- 12/15 居宅介護支援事業所研修会  
永見（皆生温泉病院）、村瀬（済生会境港総合病院）
- 1/18 東部地区在宅医療介護連携推進協議会 研修ワーキンググループ  
原田（株式会社つむぎ）、佐野（きずな訪問看護ステーション）
- 1/25 令和2年度第4回米子市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会  
永見（皆生温泉病院）
- 2/ 4 令和2年度第5回米子市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会  
永見（皆生温泉病院）
- 2/ 8 東部圏域栄養管理情報連携サポート事業検討委員会  
原田（株式会社つむぎ）、佐野（きずな訪問看護ステーション）
- 2/19 鳥取市自立支援型地域ケア会議  
坂本（さとに田園クリニック）
- 3/11 第2回米子市自立支援型地域ケア会議  
永見（皆生温泉病院）
- 3/19 東部地区地域医療構想会議  
坂本（さとに田園クリニック）

## 6. 委員メンバー

全体責任者：永見忠志（皆生温泉病院）

東部委員：原田伸吾（デイサービスつむぎ）、長田貴徳（尾崎病院）

下石勝哉（デイサービスつむぎ）、村山大佑（鳥取医療センター）

大淵賢一（鳥取赤十字病院）、村上聡（まさたみの郷）

川下洋範（いなば幸朋苑）、佐野和代

木下真実（鳥取生協病院）

中部委員：西村純一（清水病院）、三浦純（三朝温泉病院）

幸田真（藤井政雄記念病院）、藤田恵子（老健セラトピア）

西部委員：村瀬良知（済生会境港総合病院）

小椋善文（米子市役所）、横野洋子（仁風荘）、

山本香織（おしどり荘）、加藤淳美（サンライズ名和）、

三上将史（山陰労災病院）、田中卓（養和病院）、

災害対策：藤田恵子（セラトピア）

自動車運転研修会企画・実施メンバー

坂本一郎（さとに田園クリニック）、岩崎大輔（養和病院）

中村貴紀（三朝温泉病院）、坂尻信幸（県立中央病院）

影井奈央（野島病院）、増崎堅斗（三朝温泉病院）

幸田真（藤井政雄記念病院）、原田あゆ美（錦海リハビリテーション病院）

中島直（尾崎病院）、木下真実（鳥取生協病院）

佐藤亜美香（ウエルフェア北園渡辺病院）、福田哲也（NHO 米子医療センター）

郷原達之（介護老人福祉施設うつぶき）、樋口由紀子（清水病院）

野々村賢（博愛病院）、畑なつ美（養和病院）

## ◎ 認知症対策委員会

### 1. 認知症研修会

#### (1) 第16回認知症研修会

①日 時：2021年2月11日（木・祝） 14：00～16：00

②会 場：YMCA 米子医療福祉専門学校

③内 容：認知症の人に対するケアの視点とADL/QOLアプローチ

④講 師：松下太氏（森ノ宮医療大学保健医療学部作業療学科 教授）

⑤参加者：26名

#### (2) 第17回認知症研修会

①日 時：2021年2月23日（火・祝） 10：30～12：00

②会 場：YMCA 米子医療福祉専門学校

③内 容：認知症VR体験会

③講 師：株式会社シルバーウッド

④参加者：12名

### 2. 令和2年度地域医療介護総合確保基金

事業名：チームケアリーダー育成研修事業 助成額：863,000円

### 3. 全国研修派遣/視察派遣

#### (1) OT協会制度対策部「土会における認知症への取り組みを推進する担当者同士の情報交換会」

①日 程：2021年1月31日（土）13：00～16：00

②会 場：Web開催

③参加者：田住秀之（YMCA 米子）、山根七恵（倉吉病院）、石丸雅崇（渡辺病院）

#### (2) 視察派遣（Webによる情報交換/認知症VR事前研修）

①サービス付き高齢者向け住宅「銀木犀」

②日 程：2020年7月20日（月）18：00～20：00

③参加者：田住秀之（YMCA 米子）、高梨悠一（YMCA 米子）、菊本理恵（YMCA 米子）

岡野元明（照陽の家）

### 4. 認知症研修会等修了状況（令和3年3月1日現在）

- (1) 認知症研修 6 テーマ受講修了者 105 名
  - (2) OT 協会アップデート研修受講修了者 165 名
  - (3) 認知症初期集中支援チーム員研修受講者 6 名/伝達講習受講者 90 名(他職種含む)
5. 事業協力派遣
- (1) とっとり方式認知症予防プログラム普及啓発事業協力
    - ① 協力内容
      - i. とっとり方式を活用した研修会(米子市・江府町・琴浦町・鳥取市・北栄町) 派遣協力 5 名
      - ii. 県社会福祉協議会サロン世話人研修会(東部・中部・西部) 派遣協力 2 名
      - iii. 米子市・境港市社会福祉協議会とっとり方式認知症予防教室講師 派遣協力 2 名
      - iv. 三朝町・北栄町とっとり方式認知症予防教室講師 派遣協力 3 名
    - ② 派遣協力者
      - 作野亘(なんぶ幸朋苑)、田住秀之(YMCA 米子)、菊本理恵(YMCA 米子)、安井和子(YMCA 米子)
      - 仲田奈生(島根リハビリテーション学院)、安井愛美(大山リハビリテーション病院)
      - 藤田恵子(セラトピア)、清山茜(三朝温泉三喜苑)
  - (2) 認知症初期集中支援チーム/チーム員会議
    - ① 東部：石丸雅崇(渡辺病院)、坂本一郎(さとに田園クリニック)
    - ② 中部：梅津清司郎(YMCA 米子)、藤田恵子(介護老人保健施設セラトピア)、池本真一(三喜苑)  
幸田真(藤井正雄記念病院)、大西千香子(藤井政雄記念病院訪問リハビリテーション)
    - ③ 西部：田住秀之(YMCA 米子)、菊本理恵(YMCA 米子)
  - (3) 若年認知症の人と家族の集い「にっこりの会」
    - ① 協力内容
      - i. にっこりの会定例会協力 派遣協力 9 名
    - ② 派遣協力者
      - i. 東部：横尾和也(渡辺病院)、稲田拓也(いなば幸朋苑)、清水佳子(にしまち幸朋苑)
      - ii. 中部：藤田恵子(セラトピア)、小南哲(野島病院)、遠藤慎治(野島病院)
      - iii. 西部：岡野元明(照陽の家)、菊本理恵(YMCA 米子)、形部美那子(なんぶ幸朋苑)
  - (4) 西部ろうあ仲間サロン介護予防教室講師：菊本 理恵(YMCA 米子)
  - (5) 中部地区検討会：山根七恵(倉吉病院)、大西千香子(藤井政雄記念病院訪問リハビリテーション)
  - (6) 米子市認知症施策を考える会：田住秀之(YMCA 米子)
6. 認知症対策委員
- (1) 令和元年度認知症対策委員 15 名
    - ① 担当理事：田住秀之(YMCA 米子)
    - ② 西部委員：高梨悠一(YMCA 米子)、菊本理恵(YMCA 米子)、金山雄気(養和病院)  
岡野元明(照陽の家)、赤井理智子(西伯病院)、足立沙智子(西伯病院)
    - ③ 東部委員：石丸雅崇(渡辺病院)、横尾和也(渡辺病院)、岡田圭祐(ル・サンテリオン鹿野)
    - ④ 中部委員：山根七恵(倉吉病院)、山本麻未(倉吉病院)、小竹佳奈(倉吉病院)、遠藤慎治(野島病院)  
松本生(三朝温泉病院)

その他

## 第 2 号議案 令和 2 年度決算報告書承認及び監査報告の件

財産目録

貸借対照表

令和 2 年度決算書（全体）

令和 2 年度決算書（一般会計）

令和 2 年度決算書（特別会計）

正味財産増減計算表

## 財産目録

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科目		金額		
資産 の 部	1.流動資産			4,699,958
	1)現金		106,972	
	2)普通預金	鳥取銀行三柳支店 303931(財務)	660,159	
	普通預金	三柳支店 303940(事務局)	72,936	
	普通預金	三柳支店 303950(生活行為向上マネジメント)	33,345	
	普通預金	三柳支店 303978(領域対策)	139,811	
	普通預金	三柳支店 303987(広報)	248,921	
	普通預金	三柳支店 312449(学術)	141,260	
	普通預金	三柳支店 312458(地域包括ケア対策)	50,231	
	普通預金	三柳支店 312467(認知症対策)	56,476	
	普通預金	三柳支店 327989(事業部)	16,989	
	郵便振替	ゆうちょ銀行	3,172,858	
	郵便振替	ゆうちょ銀行(県学会事前参加費)	0	4,592,986
	3)立替金	未収入金	0	0
2.固定資産			505,000	
(1)特定資産				
1)啓発グッズ等積立預金	ゆうちょ銀行	505,000	505,000	
資産合計				5,204,958
負債 の 部	I.流動負債			96,991
	1)前受金	正会員会費 R3 8件	38,000	38,000
	2)預り金	補助金の返金額	58,991	58,991
	負債合計			96,991
正味財産				5,107,967

鳥取県作業療法士会

## 貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【 4,699,958】	【流動負債】	【 96,991】
現金・預金	4,699,958	前受金	38,000
		預り金	58,991
【固定資産】	【 505,000】	負債合計	96,991
(特定資産)	(505,000)	純資産の部	
啓発グッズ積立預金	505,000	【剰余金】	【 5,107,967】
		啓発グッズ積立金	505,000
		繰越利益剰余金	4,602,967
		純資産合計	5,107,967
資産合計	5,204,958	負債・純資産合計	5,204,958



令和2年度決算書（全体）

自 令和 2年4月 1日  
至 令和 3年3月31日

勘定科目			
大科目	予算額	決算額	差額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	2,610,000	2,610,000	0
研修会収入	725,000	162,500	562,500
補助金等の収入 (特別会計含む)	1,837,794	1,837,794	0
雑収入	1,000	17	983
事業活動収入合計(A)	5,173,794	4,610,311	563,483

(単位:円)

2. 事業活動支出			
(1) 管理運営部門			
	予算額	決算額	差額
事務局	484,000	303,240	180,760
財務部	243,000	215,254	27,746
規約委員会	16,000	0	16,000
倫理委員会	2,000	0	2,000
総会議事運営委員会	68,000	23,216	44,784
選挙管理委員会	46,000	7,500	38,500
(2) 事業費支出			
渉外部	6,000	1,644	4,356
広報部	299,000	251,081	47,919
事業部	285,000	387,012	-102,012
学術部	321,000	8,740	312,260
教育部	469,000	43,089	425,911
領域対策部	131,000	98,189	32,811
地域包括ケア対策委員会	517,000	0	517,000
認知症対策委員会	675,000	64,545	610,455
生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費	635,749	635,749	0
地域包括ケアシステム研修事業	227,500	227,500	0
チームケアリーダー育成研修事業	944,545	944,545	0
事業活動支出計 (B)	5,369,794	3,211,304	2,158,490
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	-196,000	1,399,007	-1,595,007

勘定科目	第1次補正予算額	決算額	差額	備考
中 科 目				
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
啓発グッズ等積立預金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計 (D)	0	0	0	
2. 投資活動支出				
啓発グッズ等積立預金取得支出	50,000	50,000	0	郵便振替預金内にて管理
投資活動支出計 (E)	50,000	50,000	0	
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	-50,000	-50,000	0	
III 予備費支出 (G)	200,000	0	200,000	
当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)	-456,000	1,349,007	-1,805,007	
前期繰越収支差額 (I)	3,253,960	3,253,960	0	
次期繰越収支差額 (J) = (H) + (I)	2,797,960	4,602,967	-1,805,007	

令和2年度決算書（一般会計）

自 令和 2年4月 1日  
至 令和 3年3月31日

大科目		予算額	決算額	差額	勘定科目	予算額	決算額	差額	備考
I 事業活動収支の部									
1. 事業活動収入									
会費収入		2,600,000	2,610,000	-10,000	年会費	2,610,000	2,610,000	0	5,000円×522名
研修会収入		725,000	162,500	562,500	第17回県学会	310,000	0	310,000	
					現職者共通研修	80,000	20,500	59,500	500円（1講義）×21名
					現職者選択研修	120,000	38,000	82,000	県士会員19名×2,000円
					MTDLP研修会	25,000	0	25,000	特別会計で計上
					地域包括ケア	55,000	0	55,000	特別会計で計上
					認知症	75,000	0	75,000	特別会計で計上
					臨床実習指導者講習会	60,000	104,000	-44,000	2,000円×52名
補助金等の収入		0	30,000	0	協賛金		0	0	
					助成金		30,000	-30,000	OT協会（土会へのICT助成金）
					賛助費		0	0	
雑収入		1,000	17	983	雑収入	1,000	17	983	預金利息
事業活動収入合計(A)		3,326,000	2,802,517	553,483		3,336,000	2,802,517	533,483	

(単位:円)

2. 事業活動支出													
(1) 管理運営部門													
事務局	当初予算額	第1次補正予算額	決算額	差額	中項目	第1次補正予算額	決算額	差額	小項目	第1次補正予算額	決算額	差額	備考
	780,000	484,000	303,240	180,760	事務費	171,700	125,627	46,073	事務用品費	41,900	6,127	35,773	6,127円 事務用品
									通信費	66,000	55,700	10,300	434円 発送・切手代、55,266円 携帯使用料(2020年4月~2021年3月分)
									封筒作成費	63,800	63,800	0	63,800円 封筒作成費
					会場費	10,200	3,300	6,900	会場費	10,200	3,300	6,900	3,300円 理事会会場費(2回分)
					役務費	251,100	117,300	133,800	旅費	251,100	117,300	133,800	80,400円 理事会交通費(18名分) 2,000円 事務業務交通費(納税、会員情報まとめ) 2,500円 三役会議交通費(3/2Web5名) 4,900円 事務局会議交通費(7/19 5名) 5,000円 代議員令和2年度定時社員総会(5/30Web2名) 10,000円 第2回47委員会(9/12Web4名)、5,000円 臨時47委員会(12/9Web2名) 7,500円 第3回47委員会(2/6Web3名)
					需用費	36,000	49,313	-13,313	茶菓子代	6,000	594	5,406	594円 茶菓子代
									オンライン用機器購入費	30,000	48,719	-18,719	48,719円 オンライン機器購入費(Webカメラ、マイク、ヘッドセット、スピーカー、非接触式体温計)
					税金	0	0	0	法人県民税	0	0	0	0円 法人県民税・年間(鳥取県)
									法人市民税	0	0	0	0円 法人市民税・年間(米子市)
					負担金	0	0	0	負担金	0	0	0	
					慶弔費	15,000	7,700	7,300	慶弔費	15,000	7,700	7,300	7,700円 祝電(卒業式・入学式)

財務部	243,000	243,000	215,254	27,746	事務用品費	5,200	4,630	570	事務用品
					通信費	12,000	16,960	-4,960	wifi通信料11,880円(990円×12か月)
					利用料	5,000	7,400	-2,400	会計ソフト年間利用料
					役務費	29,500	10,000	19,500	監査、財務部業務、税理士相談時、納税
					需用費	6,500	3,784	2,716	監査
					相談費	64,800	66,660	-1,860	監査、委員会開催
規約委員会	16,000	16,000	0	16,000	事務用品費	1,000	0	1,000	資料ファイル4冊
					通信費	0	0	0	
					役務費	10,000	0	10,000	旅費
					需用費	5,000	0	5,000	食糧費
					事務用品費	2,000	0	2,000	事務用品費
					通信費	1,000	0	1,000	通信費
倫理委員会	2,000	2,000	0	2,000	事務用品費	1,000	0	1,000	ファイル、その他必要な事務用品
					通信費	1,000	0	1,000	切手、送料、電話料金
総会議事運営委員会	68,000	68,000	23,216	44,784	事務用品費	3,000	17,352	-14,352	事務用品費
					通信費	1,000	16,672	-15,672	総会資料(書面採決状郵送代、ラベルシール代、印刷代)
					会場費	15,000	0	15,000	会場費
					役務費	47,000	5,000	42,000	旅費
選挙管理委員会	46,000	46,000	7,500	38,500	事務用品費	20,000	0	20,000	事務用品費
					通信費	0	0	0	0
					会場費	0	0	0	0
					印刷費	0	0	0	0
					役務費	21,000	7,500	13,500	旅費
					需用費	5,000	0	5,000	食糧費
(2) 事業費支出									
渉外部	13,000	6,000	1,644	4,356	事務用品費	2,300	444	1,856	事務用品費
					通信費	1,000	0	1,000	資料ファイル
					役務費	3,700	1,200	2,500	旅費
					旅費	500	0	500	0
					2,000	0	2,000	0	
広報部	376,000	299,000	251,081	47,919	事務用品費	107,000	83,891	23,109	事務用品費
					通信費	63,000	44,612	18,388	通信費
					印刷費	140,000	136,170	3,830	印刷費
					ホームページ費	27,000	31,020	-4,020	管理費
					役務費	0	0	0	旅費
					需用費	0	0	0	茶菓子代
					啓発キャンペーン	25,000	0	25,000	事務用品費
					材料費	20,000	0	20,000	材料費
					会場費	0	0	0	会場費
					役務費	0	0	0	役務費
需用費	0	0	0	需用費					
予備費	5,000	0	5,000	予備費					

事業部	773,000	285,000	387,012	-102,012	事務費	5,000	0	5,000	事務用品費	3,000	0	3,000							
								通 信 費	2,000	0	2,000								
					訪問リハ	27,000	32,550	-5,550	旅 費	0	0	0	0	0	新型コロナの影響で中止。				
										0	5,000	-5,000	0	0	Web日当				
										負担金	27,000	27,550	-550	0	0	訪問リハビリテーション地域振興会。新型コロナの影響で減額。			
					厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会 (都道府県講習会)	253,000	354,462	-101,462	講師費	100,000	264,000	-164,000	講師謝礼、世話人謝礼、旅費(web日当)	100,000	264,000	-164,000			
									会場費	25,000	0	25,000	会場費 0円 (YMCA5,000円×2日間、三朝温泉HP5,000円×2日間)	25,000	0	25,000			
									印刷製本費	31,000	52,660	-21,660	印刷製本費	31,000	52,660	-21,660	会場関連費 0円		
									会議費	0	1,252	-1,252	案内文書等印刷費用	0	1,252	-1,252	資料代としてOT協会に振り込み		
									事務費	25,000	6,902	18,098	会議費	0	1,252	-1,252	茶菓子代		
									役務費	35,000	16,500	18,500	事務費	25,000	6,902	18,098	事務費		
									需用費	32,000	13,148	18,852	通信費 (切手代、振り込み手数料等)	0	0	0	通信費		
									予備費	5,000	0	5,000	役務費	35,000	16,500	18,500	委員旅費(web日当)		
														需用費	32,000	13,148	18,852	講師・世話人昼食	
中国地区作業療法士会 合同研修会	0	0	0	旅 費	0	0	0	0	0	新型コロナの影響で中止。									
県士会員親睦会	0	0	0	負 担 金	0	0	0	0	0	新型コロナの影響で中止。									
					福利厚生費	0	0	0	0										
学術部	896,000	321,000	8,740	312,260	事務費	8,000	740	7,260	事務用品費	3,000	0	3,000							
										通 信 費	5,000	740	4,260	0	レターバック代				
					勉強会活動費	200,000	0	200,000	勉強会活動費	200,000	0	200,000	200,000	0	20,000円×10テーマ				
					研修会支援費	50,000	0	50,000	研修会支援費	50,000	0	50,000	50,000	0					
					第17回県学会	36,000	8,000	28,000	講師費	0	0	0	講師費	0	0	0			
									会場費	0	0	0	会場費	0	0	0	0		
									印刷製本費	0	0	0	印刷製本費	0	0	0	0	新型コロナの影響で中止。	
									会議費	0	0	0	会議費	0	0	0	0		
									事務費	0	0	0	事務費	0	0	0	0		
									役務費	36,000	8,000	28,000	役務費	36,000	8,000	28,000	28,000	0	委員旅費
査読委員会	11,000	0	11,000	需用費	0	0	0	0	0										
第18回県学会	16,000	0	16,000	予備費	0	0	0	0	0	新型コロナの影響で中止。									
					役務費	11,000	0	11,000	11,000	0									
教育部	543,000	469,000	43,089	425,911	事務費	8,000	840	7,160	事務用品費	3,000	0	3,000	事務用ファイル						
										通信運搬費	5,000	840	4,160	0	切手(84円×10枚)				
					講師費	33,000	32,500	500	報 償 費	30,000	30,000	0	0	0	現職者共通研修講師24,000円(6,000円×4名) 事例報告指導6,000円(6,000円×1名)				
									旅 費	3,000	2,500	500	0	0	現職者共通研修 2,000円(500円×4名) 事例報告500円(500円×1名)				
					会場費	0	0	0	会 場 費	0	0	0	0	0	会場使用せず				
					役務費	15,000	4,500	10,500	旅 費	15,000	4,500	10,500	10,500	0	現職者共通研修交通費 1,500円(500円×3名)、教育部運営委員会交通費 3,000円(500円×6)				
					生活行為向上マネジメント 委員会	413,000	5,249	407,751	事務費	6,000	0	6,000	事務費	6,000	0	6,000			
														旅 費	32,400	0	32,400		
														会議費	10,000	0	10,000		
														需用費	50,600	4,874	45,726	0	研修会昼食
													生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業	314,000	0	314,000	314,000	0	鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業
					返 金	0	375	-375	0	0	R1年度基金への返金¥375(県士会)								

領域対策部	224,000	131,000	98,189	32,811	事務費	2,000	1,747	253	事務用品費	1,000	739	261					
									通信費	1,000	1,008	-8					
					現職者選択研修	129,000	96,442	32,558	講師費	48,000	48,000	0	報償費48,000(県外講師)36,000円(県内講師)12,000円(6,000円×2名)				
									会場費	0	0	0	旅費0円(県外講師)宿泊費0円、交通費0円(県内講師)交通費0円 ※Web開催にて不要				
									印刷製本費	20,000	0	20,000	資料データ対応にて参加者各自印刷				
									会議費	5,000	0	5,000	講師打合せ会場費				
									事務費	1,100	1,540	-440					
									役務費	35,000	27,500	7,500	委員会web担当				
									需用費	14,900	12,546	2,354	弁当代:講師・スタッフ昼食				
									予備費	5,000	6,856	-1,856	衛生材料(アルコール消毒、体温計等)				
地域包括ケア対策委員会	563,000	517,000	0	517,000	需用費	15,000	0	15,000	食糧費	0	0	0	特別会計①に記載				
					地域包括ケアシステム研修	502,000	0	502,000	茶菓子代	15,000	0	15,000					
									事務費	10,000	0	10,000					
									講師費	84,000	0	84,000					
									会場費	257,000	0	257,000					
									印刷製本費	70,000	0	70,000	鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業				
									会議費	40,000	0	40,000					
									役務費	29,000	0	29,000					
									需用費	12,000	0	12,000					
					認知症対策委員会	617,000	675,000	64,545	610,455	役務費	180,000	0	180,000	旅費	180,000	0	180,000
需用費	96,000	4,752	91,248	食糧費						50,000	0	50,000	特別会計①に記載				
会場費	15,000	0	15,000	茶菓子代						46,000	4,752	41,248					
賃借料	58,000	57,500	500	会場費						15,000	0	15,000					
チームケアリーダー育成研修事業	326,000	0	326,000	事務費						4,900	0	4,900	賃借料	58,000	57,500	500	
				講師費						160,000	0	160,000	事務費	4,900	0	4,900	
				会場費						15,000	0	15,000	講師費	160,000	0	160,000	
				印刷製本費						35,000	0	35,000	会場費	15,000	0	15,000	
				会議費						5,000	0	5,000	印刷製本費	35,000	0	35,000	鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業
				役務費						71,000	0	71,000	会議費	5,000	0	5,000	
需用費	35,100	0	35,100	役務費	71,000	0	71,000										
返金	0	2,293	-2,293	需用費	35,100	0	35,100										
				返金	0	1,818	-1,818	研修中止による返金									
				返金	0	475	-475	R1年度基金への返金¥475(県士会)									
事業活動支出計 (B)	5,160,000	3,562,000	1,403,510	2,158,490													
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	13,794	1,611,794	1,549,490	62,304													

令和2年度決算書(特別会計)

自 令和 2年4月 1日  
至 令和 3年3月31日

科 目	予算額	決算額	差額	
1. 事業活動収入				
鳥取県地域医療介護総合確保基金	1,693,000	1,693,000	0	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費 621,000 地域包括ケアシステム研修事業費 209,000 チームケアリーダー育成研修事業 863,000
研修会参加費	45,000	45,000	0	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業 9,500 地域包括ケアシステム研修事業 18,500 チームケアリーダー育成研修事業 17,000
県士会負担金	69,794	69,794	0	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業 5,249 地域包括ケアシステム研修事業 0 チームケアリーダー育成研修事業 64,545
収入合計	1,807,794	1,807,794	0	

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差額	小科目	金額	積算内訳
2. 事業活動支出						
生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費	635,749	635,749	0	報酬	42,000	【日当】¥42,000 (10/24¥16,000+12/12¥8,000+1/24¥18,000)
				報償費	206,000	【講師謝金】¥206,000 (10/24¥104,000+12/12¥72,000+1/24¥30,000)
				旅費	81,000	【委員会旅費】¥30,500 ・3委員会¥2,500(7/1¥1,000+10/1¥1,500) ・全県¥28,000 【出張旅費】¥8,000 ・指導者研修会(参加費)¥8,000 【出張日当】¥42,500 ・指導者研修会¥5,000 ・拡大連絡会議¥37,500
				需用費	8,543	【研修会講師食糧費】 ¥2,767(10/24¥1,370+12/12¥1,397) 【消耗品費】¥902(10/15¥110+10/19¥792) 【研修会スタッフ食糧費】¥4,874 (10/24¥3,536+12/12¥1,338)
				役務費	4,319	【通信運搬費】¥3,996 (4/21¥1,410+10/16¥1,250+12/7¥1,000+1/6¥336) 【手数料】¥323(11/2¥85+12/12¥68+1/24¥170 《バスマーケット手数料》)
				使用および賃借料	11,000	【zoom使用料】¥11,000(zoom月額¥2,200×5ヶ月)
				備品購入費	20,294	【物品購入費】¥20,294 (10/4¥9,494+10/5¥10,800)
				返金	262,593	R1年度基金への返金¥375(県士会) R2年度基金への返金済¥224,000(基金) R2年度基金への返金¥38,218(基金)
地域包括ケアシステム研修事業	227,500	227,500	0	報酬	32,000	日当:32,000円(基金) ・大研修会10,000円 ・人材育成研修会8,000円 ・運転と作業療法研修会14,000円
				報償費	27,000	講師謝金:27,000円(基金) ・大研修会10,000円 人材育成研修会11,000円 ・運転と作業療法研修会6,000円
				旅費	60,500	委員・スタッフ旅費:60,500円(基金) ・西部地区委員会交通費、地域包括 ・運転、全国推進会議
				需用費	2,140	消耗品費:2,140円(基金)
				役務費	630	通信運搬費:630円(基金)
				返金	105,230	R2年度基金への返金済¥105,000(基金) R2年度基金への返金¥230(基金)

チームケアリーダー育成研修事業	944,545	944,545	0	報酬	12,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>目当12,000円(基金)</li> <li>・第16回8,000円</li> <li>・第17回4,000円</li> </ul>
				報償費	36,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師謝金36,000円(基金)</li> <li>・第16回36,000円</li> </ul>
				旅費	89,660	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員・スタッフ旅費19,500円(基金)</li> <li>・委員会交通費8,500円</li> <li>・研修会交通費3,000円</li> <li>・委員業務交通費8,000円</li> <li>研修派遣旅費70,160円</li> <li>・研修派遣・視察等旅費62,660円(基金)</li> <li>・協会意見交換会7,500円(基金)</li> </ul>
				需用費	28,943	<ul style="list-style-type: none"> <li>食糧費4,752円</li> <li>・茶菓子代4,752円(県士会)</li> <li>消耗品22,421円(基金)</li> <li>・22,421円</li> <li>印刷製本費1,770円(基金)</li> <li>・1,770円</li> </ul>
				役務費	19,307	<ul style="list-style-type: none"> <li>役務費19,307円(基金)</li> <li>・通信運搬費14,498円</li> <li>・手数料4,809円</li> </ul>
				使用及び賃借料	208,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>会場費10,000円(基金)</li> <li>・第16回5,000円</li> <li>・第17回5,000円</li> <li>研修機器使用料198,000円</li> <li>・研修機器使用料74,500円(基金)</li> <li>・第17回ファンリター料66,000円(基金)</li> <li>・研修機器使用料57,500円(県士会)</li> </ul>
				備品購入費	50,799	<ul style="list-style-type: none"> <li>Web委員会・Web研修会機器購入費50,799円(基金)</li> <li>・50,799円</li> </ul>
				返金	499,836	<ul style="list-style-type: none"> <li>第17回参加費の返金1,818円(県士会)</li> <li>R1年度基金への返金475(県士会)</li> <li>R2年度基金への返金済477,000円(基金)</li> <li>R2年度基金への返金20,543円(基金)</li> </ul>
事業活動支出計	1,807,794	1,807,794	0			
事業活動収支差額	0	0	0			

正味財産増減計算書

自 令和2年4月1日  
至 令和3年3月31日

勘定科目		当年度	前年度	差額
大科目	中科目			
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収入		162,500	376,000	-213,500
	研修会収入	162,500	124,500	38,000
	学会収入	0	251,500	-251,500
	その他の収入	0	0	0
正会員収入		2,610,000	2,645,000	-35,000
	正会員会費収入	2,610,000	2,645,000	-35,000
	賛助会員会費収入	0	0	0
補助金収入		1,837,794	2,715,915	-878,121
	補助金収入	1,837,794	2,715,915	-878,121
雑収入		17	20	-3
	雑収入	17	20	-3
経常収益計(A)		4,610,311	5,736,935	-1,126,624



単位:(円)

勘定科目		当年度	前年度	差額
大科目	中科目			
(2) 経常費用				
① 管理運営部門		549,210	882,583	-333,373
	事務局支出	303,240	566,001	-262,761
	財務部支出	215,254	227,754	-12,500
	規約委員会支出	0	0	0
	倫理委員会支出	0	0	0
	総会議事運営委員会支出	23,216	70,628	-47,412
	選挙管理委員会支出	7,500	18,200	-10,700
② 事業費支出		2,662,094	4,364,303	-1,702,209
	渉外部支出	1,644	4,766	-3,122
	広報部支出	251,081	419,716	-168,635
	事業部支出	387,012	291,586	95,426
	学術部支出	8,740	498,676	-489,936
	教育部支出	43,089	103,724	-60,635
	領域対策部支出	98,189	126,505	-28,316
	生活行為向上マネジメント委員会支出	0	53,021	-53,021
	地域包括ケア対策委員会支出	0	45,882	-45,882
	認知症対策委員会支出	64,545	104,512	-39,967
	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費	635,749	952,521	-316,772
	地域包括ケアシステム研修事業	227,500	578,882	-351,382
	チームケアリーダー育成研修事業	944,545	1,184,512	-239,967
経常費用計(B)		3,211,304	5,246,886	-2,035,582
当期経常増減額(C)=(A)-(B)		1,399,007	490,049	908,958
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益		( 0)	( 0)	( 0)
経常外収益計(D)		0	0	0
(2) 経常外費用		( 0)	( 0)	( 0)
経常外費用計(E)		0	0	0
当期外経常増減額(F)=(D)-(E)		0	0	0
当期一般正味財産増減額(G)=(C)+(F)		1,399,007	490,049	908,958
一般正味財産期首残高(H)		3,708,960	3,218,911	490,049
一般正味財産期末残高(I)=(G)+(H)		5,107,967	3,708,960	1,399,007
II 正味財産期末残高		5,107,967	3,708,960	1,399,007

監査報告書

令和3年4月11日

一般社団法人 鳥取県作業療法士会  
会長 段 敬 史 様

一般社団法人 鳥取県作業療法士会

監事 江原 貴子

監事 横野 洋子



私たち監事は、令和2年度における鳥取県作業療法士会の事業を監査したので、その結果について次のとおり報告いたします。

I. 監査方法の概要

令和2年度に開催された理事会に出席し、事業の報告を聴取しました。また、令和2年度事業報告書、事業報告の附属明細書、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）、財産目録、貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計画書）の附属明細書、収支計算書を閲覧するとともに、執行状況を聴取するなど、必要な監査手続きを実施しました。

II. 監査の結果

1. 事業報告等の監査結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 業務の執行においても法令及び定款に従い、正しく遂行しているものと認めます。

2. 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の状況を適正に表示しているものと認めます。

III. 監事の意見

令和2年度は、コロナ禍の中で県士会の活動も大きく制限を受け、事業の中止やWEB開催への変更を余儀なくされるなど、会員の皆様が直接交流できる機会は激減しました。このような状況下において理事をはじめ部員・委員の皆様の臨機応変な対応により適正に事業が遂行できました。

令和3年度においても会員の皆様には、会費納入をはじめ、法人からの依頼や要請事項につきましては速やかに対応いただき、法人の事業が迅速かつ円滑に遂行できますことを望みます。

### 第3号議案 役員改選（役員選出）の件

#### 1. 令和3年度理事会立候補当選者・推薦者 当選者（敬称略）

会長	サンライズ名和	段 敬史
理事	YMCA 米子医療福祉専門学校	梅津 清司郎
理事	さとに田園クリニック	坂本 一郎
理事	老健 はまかぜ	土井 宣幸
理事	うらら皆生	田中 寿美
理事	老健 セラトピア	藤田 恵子
理事	YMCA 米子医療福祉専門学校	田住 秀之
理事	YMCA 米子医療福祉専門学校	高梨 悠一
理事	YMCA 米子医療福祉専門学校	菊本 理恵
理事	鳥取県中部療育園	谷口 弘
理事	皆生温泉病院	永見 忠志
理事	SOI STANCE	小山 雅之
理事	三朝温泉病院	松本 周三
理事	錦海リハビリテーション病院	北山 朋宏
理事	清水病院	西村 純一
		以上 15 名

#### 理事会選挙推薦候補者（敬称略）

理事	デイサービスつむぎ	原田 伸吾
監事	大山リハビリテーション病院	江原 貴子
監事	養和病院	花倉 敏文
監事	済生会境港総合病院	小山 久美子
		以上 4 名

令和3年度鳥取県作業療法士会理事・監事 計 19 名選出

### 第4号議案 定款の改訂の件

#### ◎ 規約委員会

##### 【定款の変更について】

#### 1. 第3章社員総会 第21条の変更について

昨年度及び今年度においてもコロナ禍での開催となり臨時的に各会員の委任状を電磁的記録（Google フォーム）で提出をお願いしている。今後も不測の事態に対応できるよう電磁的記録をもって議決権を行使の文言を追記。

#### 2. 第4章役員 第25条の変更について

役員候補者選挙へ立候補しやすい環境整備を行う。

会長及び副会長の選出方法を社員総会の決議→理事会の決議での選出に変更し、2項に会長・副会長は理事会の決議により理事の中より選任する。を追記。

### 第5号議案 その他

令和3年度 事業計画

【管理運営部門】

◎ 事務局

1. 会議の開催

- (1) 令和3年度定時社員総会：令和3年5月16日(日)
- (2) 理事会：年6回開催
- (3) 事務局会議：年2回開催
- (4) 三役会議：年3回開催

2. 会員管理

- (1) 会員の入退会管理：届け出方法や管理方法の見直しも併せて行い、令和4年度新入会員から協会システムと連動した会員管理方法へ完全履行予定
- (2) 賛助会員への対応：請求書の送付、連絡調整
- (3) 入会促進活動：県内養成校へ入会案内と入会申込書の送付

3. 文書管理

- (1) 内外文書の受取・保管
- (2) 会員への情報配信：事務局より、登録いただいている会員メールアドレスへ適宜情報配信を行う

4. 作業療法士に関する全国組織との連携

- (1) 日本作業療法士協会
  - ① 日本作業療法士協会 2021年度定時社員総会：代議員3名参加
  - ② 47都道府県委員会(年3回)
  - ③ 日本作業療法士会からのアンケート回答
  - ④ 協会員＝士会員に向けての情報共有と発信、定款・諸規定の見直し

5. その他法人の管理運営に関すること

- ① コロナ禍における一般社団法人の運営等について情報収集・必要書類の準備
- ② 法人市民税・県民税：減免申請手続き
- ③ 令和元年の事務局変更に伴う郵便物転送届の延長
- ④ 他県士会、他団体等からの問い合わせ対応
- ⑤ 役員改選に伴う法務局への変更登記申請

◎ 財務部

1. 会費徴収について

- (1) 会費徴収
- (2) 未納者への督促

2. ボランティア保険加入手続き

県士会事業に関わる会員のみ加入手続きを行う

3. 予算事務に関する特記事項

なし

◎ 規約委員会

1. 規約委員会の開催(年2回以上開催予定)
2. 施行則・規程内容の追加・修正、削除の作業及び問い合わせ。
3. 各専門部との連携

◎ 倫理委員会

1. 現職者共通研修会「職業倫理」の講演
2. 相談への対応
3. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携

## ◎ 総会議事運営委員会

1. 定時社員総会の議案書・議事録の作成
2. 定時社員総会の開催
  - (1)期日：令和3年5月16日（日） 9：30～10：30
  - (2)会場：倉吉未来中心 セミナールーム3
  - (3)内容：令和2年度事業報告書承認  
令和2年度事決算報告書承認及び監査報告  
令和3年度事業計画及び予算  
役員改正（役員選出）
  - (4)その他：議長選出、書記任命

## ◎ 選挙管理委員会

1. 役員改選報告
2. 理事との令和2年度の振り返り、修正
3. 委員会の開催：運営の振り返りと反省、マニュアルの確認、変更（年2回以上）

## 【事業部門】

### ◎ 渉外部

1. 関係機関との渉外、連絡・調整に関わること
  - (1)鳥取県社会福祉協議会との協力・連携・調整
    - ①令和3年度介護専門職研修事業 研修企画会議
    - ②令和3年度介護専門研修 講師調整
  - (2)特別支援教育への協力
    - ①会員、学校との連絡調整、実施集計など
    - ②県、市町村教育委員会との連携
    - ③日本作業療法士協会との連携
  - (3)YMCA 米子医療福祉専門学校卒業式参加
  - (4)若草学園協力
  - (5)学童保育鳥取県連絡協議会との連携・協力
  - (6)鳥取県障がい者スポーツ協会との連携
  - (7)日本筋ジストロフィー協会鳥取県支部 療育キャンプ協力
  - (8)その他、関係機関との協力・連携・調整、及び依頼事業への対応
2. 作業療法士の職域拡大に関すること
  - (1)外部協力調査

### ◎ 広報部

1. 県土会ニュース発行  
年4回（111号～114号）
2. 広報資料の整備
  - (1)パンフレット（日本作業療法協会より取り寄せ）
  - (2)その他
3. 学校への啓発・広報活動
  - (1)資料配布
    - ①高校への配布（施設見学案内も含む）
    - ②教育委員会・小・中・高校、特別支援学校、義務教育学校への配布（特別支援教育関係）
  - (2)高校生施設見学（東・中・西部の各地区の承諾施設で実施）7月～8月
4. 一般への啓発・広報活動
  - (1)作業療法推進啓発キャンペーン活動  
開催地：未定

- (2)その他、啓発・広報活動
- 5. 作業療法推進月間（8月）
  - ポスターの配布（配布先：OT 在籍施設、市町村役場、OT 不在の病院・老健施設）
- 6. ホームページ管理・更新
- 7. 日本作業療法士協会との連携（Web 会議への参加）
- 8. データ管理委員会
  - (1) 郵送に関するデータを管理・更新（各部・委員会との連携）
  - (2) 円滑な郵送方法情報の提供
- 9. その他

## ◎ 事業部

- 1. 訪問地域リーダー会議
  - (1) 期日：未定
  - (2) 会場：未定
  - (3) 出席者：未定
- 2. 臨床実習指導者講習会
  - (1) 期日：未定
  - (2) 会場：未定
  - (3) 内容：未定
- 3. 中国地区作業療法士会合同研修会
  - (1) 期日：未定
  - (2) 会場：未定（岡山県）
  - (3) 内容：未定
- 4. 訪問リハビリテーション実務者研修会
  - (1) 期日：未定
  - (2) 会場：未定
  - (3) 内容：未定

## ◎ 学術部

- 1. テーマ別勉強会
  - (1) 東部地区      1 テーマ   東部地区全般勉強会
  - (2) 東・中部地区   1 テーマ   特別支援教育（東部・中部）
  - (3) 中部地区      2 テーマ   中部精神科勉強会、中部地区合同勉強会
  - (4) 西部地区      6 テーマ   西部精神科勉強会、西部福祉用具・住環境勉強会、  
CVA 勉強会、作業を考える会、治療演習・ADL 分析勉強会、  
特別支援教育（西部）
- 2. 第 17 回鳥取県作業療法学会  
新型コロナウイルス感染症の状況により、Zoom を用いた Web 学会とすることにした。
  - (1) 会期：令和 3 年 10 月 2 日（土）
  - (2) 会場：Zoom 利用
  - (3) 内容：
    - ① 学会テーマ：「社会との繋がりをつくるため、作業療法士にできること」
    - ② 特別講演 1：西方浩一 氏（文京学院大学 保健医療技術学部 准教授 作業療法士）
    - ④ 特別講演 2：現在調整中
    - ⑤ イベント：現在調整中
    - ⑥ 一般演題：口述発表のみ（事例登録としての発表も可能）
  - (4) 実行委員：（Web になるため役割を調整中）
    - 学会長                      北山朋宏（錦海リハビリテーション病院）
    - 実行委員長                原美苗（なんぶ幸朋苑）

副実行委員長	乾かおり（仁風荘）
広報・接待	田村理恵（鳥取大学医学部附属病院）、山本香織（特養あいご）
会計	小山雅之（SOI STANCE）、菊本理恵（YMCA 米子医療福祉専門学校）
演題・査読	村上秀一（大山リハビリテーション病院）、池淵歆斗（米子病院）
学会誌	村瀬良知（済生会境港総合病院）
会場	山本未来（錦海リハビリテーション病院）
相談役	段敬史（サンライズ名和）、田住秀之（YMCA 米子医療福祉専門学校）
学術部長	高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）

### 3. 査読委員会

- (1) 査読委員：池淵歆斗（米子病院）、松本周三（三朝温泉病院）、  
宮脇淳（米子東病院）、平野正樹（錦海リハビリテーション病院）、  
高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）

#### (2) 内容

- ① 査読委員会の開催（年 4 回）
- ② 査読者登録制度の作成（査読者の基準作成）
- ③ 査読者の登録および管理
- ④ 査読者の選定と査読依頼
- ⑤ 査読結果の集約  
（＊採択・不採択の最終判断は、学会長と査読委員長との協議で行う）
- ⑥ 県学会演題採択に関する投稿規定作成および修正

## ◎ 教育部

### 1. 生涯教育制度に関する管理

- (1) ホームページ「生涯教育制度について」更新
- (2) 基礎研修ポイント管理・発行
  - ① 士会裁量基礎研修ポイント集計・発行
  - ② 現職者共通研修修了ポイント発行
  - ③ 現職者選択研修会ポイント発行
  - ④ 鳥取県作業療法学会ポイント発行
  - ⑤ 基礎研修会（士会主催及び共催）ポイント発行

### 2. 生涯教育制度に関する開催

#### 現職者共通研修会

期日と会場（予定）	区分	テ ー マ	講 師（予定）
① 前期 7月25日（日） 会場：西部 YMCA 米子	I	作業療法生涯教育概論	北山朋宏：錦海リハ病院
		職業倫理	長田貴徳：尾崎病院
	III	保健・医療・福祉と地域支援	長谷川徹：はまなす
		作業療法における協業・後輩育成	田住秀之：YMCA 米子
② 後期 10月17日（日） 会場：東中部 鳥取医療センター	II	①6. 作業療法の可能性	宮城直子：尾崎病院
		②8. 事例報告と事例研究	梅津清司郎：YMCA 米子
	IV	①7. 日本と世界の作業療法の動向	藤田恵子：セラトピア
		②5. 実践のための作業療法研究	高梨悠一：YMCA 米子

### 3. 生涯教育に関する研修会等の認定

- (1) 現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定（テーマ別勉強会より「事例報告会認定申請」を行い、教育部長が受理・認定。学術部員がホームページ掲載依頼）
- (2) 基礎研修会認定（テーマ別勉強会より申請を行い、教育部長が受理・士会主催認定）
- (3) SIG 等登録認定（SIG として認定を希望する団体を会員が申請し教育部長が受理・認定）

### 4. 日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者

- (1) 生涯教育制度推進担当者会議会への出席
- (2) 生涯教育受講登録システムへの登録

5. 会員への情報伝達

- (1) 県士会ニュースへの掲載
- (2) ホームページへの掲載
- (3) その他

6. 他部との連携・協力

- (1) 学術部：テーマ別勉強会、基礎研修会、ポイント発行など
- (2) 事業部：鳥取県作業療法学会、訪問リハビリテーション実務者研修会など
- (3) 領域対策部：現職者選択研修会など
- (4) 事務局：会員管理事務など
- (5) 特設委員会：士会主催研修会など

◎ 生活行為向上マネジメント委員会

- 1. 令和3年度鳥取県地域医療介護総合確保基金申請作業
- 2. 生活行為向上マネジメント委員会の開催

全県委員会（年7回）

業務内容

- ① 生活行為向上マネジメント研修会 企画・運営  
生活行為向上マネジメント研修カリキュラムの管理
- ② 生活行為向上マネジメント広報活動
- ③ 生活行為向上マネジメント指導者養成

◎ 領域別対策部

- 1. 現職者選択研修（老年期障害領域）

- (1) 期日：令和3年10月（未定）
- (2) 会場：（未定）
- (3) 内容：

テーマ1：老年期の基礎知識	未定
テーマ2：老年期作業療法の治療的枠組み	未定
テーマ3：地域生活を支援する	未定
テーマ4：老年期の作業療法実践 トピックス	未定

◎ 地域包括ケアシステム対策委員会

- 1. 研修会開催

- (1) 地域包括ケアシステム人材育成別研修会（1回）

- ① テーマ：未定
- ② 開催日：未定
- ③ 講師：未定
- ④ 内容：未定

- (2) 地域包括ケアシステム大研修会（1回）

- ① テーマ：防災関連の内容を含む
- ② 開催日：未定
- ③ 講師：未定
- ④ 内容：未定

- (3) 運転と作業療法研修会

- ① テーマ：未定
- ② 開催日：未定
- ③ 講師：未定
- ④ 内容：未定

- 2. 災害時対応マニュアルの作成協議



- 県内連絡・報告システムの作成
- 災害時対応マニュアルの検討
- 他県士会・多団体との災害時連携の確認（徳島県・POST・JRAT など）
- 3. 地域包括ケアシステム協力体制の整備推進
  - 地域活動に対する外部からの依頼に対応可能な協力施設・委員のリスト化
  - 各地域の現状確認・情報共有・課題抽出と対応の検討、実施
- 4. パンフレット・チラシ管理
  - (1)パンフレット内容の見直しと印刷
    - 県・各地域包括支援センター・県士会員・その他各関係機関など状況に合わせて配布
  - (2)フレイル予防啓発チラシのホームページ上への掲載
- 5. 担当者会議
  - (1)地区別会議：西部地区6回 東中部地区3回 自動車運転研修会5回
  - (2)委員メンバー選出
    - 全体責任者：永見忠志（皆生温泉病院）
    - 東部委員：原田伸吾（デイサービスつむぎ）、大淵賢一（鳥取赤十字病院）、藤原あやな（鳥取赤十字病院）
    - 中部委員：藤田恵子（老健セラトピア）三浦純（三朝温泉病院）
    - 西部委員：村瀬良知（米子脳神経クリニック）、加藤淳美（サンライズ名和）、三上将史（山陰労災病院）
    - 災害対策：藤田恵子（セラトピア）、永見忠志（皆生温泉病院）
    - 磯江慎吾（とつとの杜こどもリハビリテーションクリニック）
    - 自動車運転研修会企画・実施メンバー
      - 岩崎大輔（養和病院）、中島直（尾崎病院）、木下真実（鳥取生協病院）
      - 佐藤亜美香（ウエルフェア北園渡辺病院）、中村貴紀（三朝温泉病院）
      - 福田哲也（NH0 米子医療センター）、坂尻信幸（県立中央病院）
      - 影井奈央（野島病院）、幸田 真（藤井政雄記念病院）
      - 郷原達之（介護老人福祉施設うつぶき）、河場航（山陰労災病院）
      - 原田あゆ美（錦海リハビリテーション病院）、野々村賢（博愛病院）
      - 畑なつ美（養和病院）

## ◎ 認知症対策委員会

- 1. 令和3年度鳥取県地域医療介護総合確保基金「チームケアリーダー育成研修事業」申請作業
- 2. 委員会開催(年3回)
  - (1)研修会企画・運営・受講登録
  - (2)認知症関連に携わる会員関与状況の把握
  - (3)認知症に関連する県内事業協力・啓蒙
  - (4)日本作業療法士協会との連携(アップデート研修、認知症に関わる情報交換)
- 3. 研修会
  - (1)認知症研修会3回(全体研修1回、西部地区研修1回、東中部地区研修1回)
  - (2)OT協会認知症アップデート研修
  - (3)研修会期日：未定
  - (4)研修会会場：未定
- 4. 事業協力・派遣
  - (1)認知症施策に基づく各種事業への協力・派遣
  - (2)認知症の人と家族の会、認知症初期集中支援チーム員会議、認知症施策検討委員会等への派遣協力
  - (3)研修・視察派遣

令和3年度予算書

自 令和 3年 4月 1日  
至 令和 4年3月31日

勘定科目			備考
大科目	予算額	小科目	金額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	2,080,000	年会費	2,080,000 4,000円×520名
研修会収入	440,000	第17回県学会	160,000 1,000円×150名、500円×20名
		現職者共通研修	80,000 2,000円×30名、4,000円×5名
		現職者選択研修	80,000 2,000円×30名、4,000円×5名
		臨床実習指導者講習会	120,000 2,000円×60名
補助金等の収入	0	助成金	0
		賛助費	0
雑収入	1,000	雑収入	1,000 預金利息
事業活動収入合計(A)	2,521,000		

勘定科目		予算額	小科目	備考
中	科		目	
II	投資活動収支の部			
	1. 投資活動収入			
	啓発グッズ等積立預金取崩収入	0		
	投資活動収入計(D)	0		
	2. 投資活動支出			
	啓発グッズ等積立預金取得支出	50,000		郵便振替預金内にて管理
	投資活動支出計(E)	50,000		
	投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	△50,000		
III	予備費支出(G)	200,000		
	当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)	△1,222,000		
	前期繰越収支差額(I)	4,602,967		
	次期繰越収支差額(J)=(H)+(I)	3,380,967		

2. 事業活動支出

(1)管理運営部門

(単位:円)

予 算 額	勘 定 科 目	金 額	備 考
事務局 726,000	事務用品費	45,300	ファイル・コピー15,300円、名刺20,000円、変更登記事10,000円
	通 信 費	65,000	法人携帯使用料55,200円、切手・振込9,800円
	会 議 費	10,200	理事会6回 施設利用費(1,700円×6回)
	旅費 交通費	493,500	総会準備・当日交通費7,200円 理事会交通費137,400円 代議員令和2年度定時社員総会 15,000円 47都道府県委員会300,000円 事務業務交通費(納税等)3,000円 3役会議交通費12,500円 事務局会議交通費9,400円 代表理事活動費9,000円
	需 用 費	6,000	茶菓子1,000円×6回
	法人税及び事業税	91,000	法人県民税・年間(鳥取県)21,000円、(米子市)60,000円 役員変更登記登録免許税10,000円
	負 担 金	0	
	福利厚生費	15,000	電報(祝電)等
財務部 243,000	事務用品費	5,200	事務用品
	通 信 費	17,000	wifi通信料10,800円、会計ソフト年間利用料5,000円
	旅費 交通費	29,500	監査3,500円、総会会費受付6,000円、県学会受付3,000円、 財務部業務10,000円、税理士相談時4,000円、納税3,000円
	需 用 費	6,500	昼食700円×5名 監査、委員会開催
	相 談 料	64,800	税理士相談料
	保 険 料	120,000	ボランティア保険800円×149名、手数料324円(108円×3回)
規約委員会 16,000	事務用品費	1,000	資料ファイル4冊
	旅費 交通費	10,000	委員会交通費(1,500円×4名, 500円×8名)
	需 用 費	5,000	700円×6名
倫理委員会 2,000	事務用品費	1,000	ファイル、その他必要な事務用品
	通 信 費	1,000	切手、送料、電話料金
総会議事運営委員会 76,000	事務用品費	2,000	ファイル、その他事務用品
	通 信 費	1,000	
	報 償 費	4,000	総会リモートホスト謝金4,000円
	会 議 費	15,000	総会会場費(会場代、備品使用代)
	旅費 交通費	51,000	委員会10,500円(500円×4名、1,500円×1名)×3回分 総会29,100円+新理事10,000円+500円(事前説明交通費)
	需 用 費	3,000	1000円×3回分
選挙管理委員会 46,000	事務用品費	20,000	ファイル・付箋印刷用紙等 ※選挙開催時:別途計上(ゆうメール使用 37,800円) ※選挙開催時:別途計上(9,180円)
	会 議 費	0	
	旅費 交通費	21,000	定期委員会開催 ※選挙開催時臨時招集時:別途計上
	需 用 費	5,000	※選挙開催時:別途計上(選管5名+立会人2名700円×7名4,900円) ※選挙開催時:別途印刷費計上(70,000円予定)

## (2) 事業運営部門

(単位:円)

	予算額	勘定科目	金額	備考
渉外部	8,000	事務用品費	1300	資料ファイル
		通信費	1000	
		旅費 交通費	5,700	県教育委員会訪問1,200円×1名、鳥取県医療推進協議会総会500円 YMCA米子医療福祉専門学校卒業式交通費500円 筋ジスキャンプ参加者交通費2,000(500円×4人) 部会議 500×3名(1,500)
広報部	356,000	事務用品費	120,000	ニュース費3,000円、HP費1,000円 など、啓発:当日資料13,000円 資料取り寄せ費10,000円、ホームページ通信費1,000円、 ニュース送料52,000円(4回×11,000円+推進月間1回×8,000円) 作業所委託(郵送料含む)40,000円
		需用費	172,000	ニュース印刷委託費140,000円、 啓発:材料費20,000円(100名)、会場備品1,000円、茶菓子:2,000円 当日協力者お菓子・飲物:2,000円、弁当代:7,000円
		ホームページ管理費	32,000	月額2,200円×12か月=26,400円 ドメイン更新料5,500円(年1回)
		旅費 交通費	27,000	交通費1,500円(総会交通費)、啓発:会議:15,200円、 当日スタッフ:9,500円
		予備費	5,000	
		事業部	615,000	事務用品費
		通信費	12,000	事業部:2,000円、実習指導講習:10,000円
		報償費	100,000	実習指導講習:講師費、旅費100,000円
		会議費	30,000	実習指導講習:会場費20,000円、会場関連5,000円、 講師打ち合わせ会場費5,000円
		旅費 交通費	260,000	訪問リハ170,000円(東京⇄米子交通費130,000円、 宿泊費20,000円、日当20,000円) 訪問リハフォーラム:20,000円、日当10,000円(5,000円×2名) 実習指導講習:委員旅費web日当35,000円 中国研修:web日当25,000円(2500円×10名)
		需用費	100,600	実習指導講習:講師茶菓子3,000円、講師昼食21,000円、 委員茶菓子3,000円、委員昼食5,600円 実習指導講習:印刷案内61,000円、中国研修:昼食代7,000円
		負担金	100,000	訪問リハ:50,000円、中国研修:50,000円
		予備費	4,400	
学術部	833,000	事務用品費	13,000	事務用品3,000円、学会:10,000円
		通信費	7,000	郵送料2,000円、学会5,000円
		報償費	71,000	特別講演 報償費 20,000円、旅費 50,000円、 学術集会 座長旅費 1,000円(500円×2)
		会議費	160,000	会場費(当日) 129,414円 会場費(前日) 22,660円、 会場関連費 2,926円、講師打合せ会場費 5,000円
		旅費 交通費	145,500	学会:委員旅費99,000円、当日役員旅費20,000円 査読:委員旅費10,500円、次期学会:委員旅費16,000円
		需用費	176,500	学会:講師等用茶菓子8,000円、講師・座長昼食3,000円 役員4名昼食4,000円、委員・担当昼食7,000円、委員茶菓子代8,000円 役員・委員前日夕食9,800円、講師当日夕食1,000円 花代10,000円、ポスター・チラシ代25,000円 学会誌印刷製本 100,000円(送料込)
		勉強会活動費	250,000	勉強会活動費20,000円×10、研修会支援費50,000円
				予備費
教育部	208,000	事務用品費	8,000	事務用ファイル、MTDLP:5,000円
		通信費	5,000	振込み料、切手
		報償費	97,000	現職者共通研修講師48,000円(6,000円×8名) 事例報告指導30,000円(6,000円×5名) 現職者共通研修 16,500円、事例報告 2,500円(500円×5名)
		会議費	25,000	現職者共通研修 前期(西)10,000円、後期(東)10,000円 MTDLP:講師研修会打ち合わせ費(5,000円×1回)
		旅費 交通費	33,000	現職者共通前期西部2,000円、後期東部2,000円、現職共通1,000円 MTDLP:WEB全県委員会(500円×10名)×5回開催25,000円 3委員会(500円×2名)×3回開催3,000円
		需用費	40,000	MTDLP:食糧費:28,000円 委員昼食21,000円、 委員夕食7,000円、茶菓子:12,000円
		領域対策部	223,000	事務用品費
		通信費	1,000	
		報償費	115,000	報償費48,000円(県外講師)36,000円(県内講師)12,000円(2名) 旅費67,000円(県外講師)宿泊費10,000円、交通費50,000円) (県内講師)交通費7,000円(3,500円×2名)
		会議費	25,000	会場費、講師打合せ会場費
		旅費 交通費	24,500	500円×7名×7回
		需用費	50,500	弁当代:講師昼食 3,000円、委員昼食 4,900円 講師夕食3,000円、委員夕食4,900円、講師茶菓子・飲み物7,000円 委員茶菓子代 1,000円×7回 コピー用紙代、印刷トナー代 20,000円
		予備費	5,000	
地域包括ケア 対策委員会	30,000	需用費	30,000	地域包括ケアに関するパンフレット200~300部作成
認知症対策委員会	111,000	需用費	96,000	委員昼食25,000円(研修3回)、委員夕食25,000円(研修3回) 委員・講師茶菓子代16,000円、研修茶菓子30,000円
		会議費	15,000	講師打ち合わせ会議費5,000円×3回
事業活動支出計(B)	3,493,000			
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	△ 972,000			

